

平成26年度

決算報告

平成26年度決算が、平成27年9月定例町議会で承認されました。

決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成26年度は、どのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

一般会計

一般会計歳出

(単位 / 千円)

項目	26年度決算	前年度増減額
民生費	34億3,983万7	3億4,588万9
教育費	13億6,705万7	△ 1,796万7
総務費	12億4,462万2	2,843万5
土木費	10億6,823万8	△ 8億3,139万0
公債費	8億 738万6	7,806万8
衛生費	7億3,511万3	△ 2,490万4
消防費	6億1,570万7	498万5
農林水産業費	2億4,593万0	9,905万2
その他		
議会費	1億1,287万8	△ 180万4
商工費	4,904万8	△ 280万1
労働費	3,003万2	0
災害復旧費	0	0
諸支出金	2億9,948万9	△ 1億4,924万2
合計	100億1,533万7	△ 4億7,167万9

一般会計歳入

(単位 / 千円)

項目	26年度決算	前年度増減額
町税	36億7,939万3	5,483万6
繰越金	3億6,440万7	△ 7,695万2
繰入金	4億 630万2	5,943万4
その他		
分担金及び負担金	9,930万1	△ 991万7
使用料及び手数料	7,164万0	△ 348万3
財産収入	550万8	△ 3,237万1
寄附金	60万2	1万1
諸収入	1億1,662万1	△ 2,635万4
地方交付税	20億3,211万0	1,768万8
国庫支出金	11億8,498万3	△ 3億5,247万4
町債	11億 27万5	△ 2億3,996万9
その他		
県支出金	7億4,803万8	1億3,946万2
地方消費税交付金	3億6,032万2	6,710万3
地方譲与税	8,985万7	△ 437万8
地方特例交付金	1,859万5	△ 23万3
自動車取得税交付金	1,744万4	△ 1,973万6
ゴルフ場利用税交付金	6,681万5	△ 487万3
利子割交付金	687万6	△ 100万7
株式等譲渡所得割交付金	1,898万4	△ 825万7
配当割交付金	3,105万0	1,442万7
交通安全対策特別交付金	465万3	△ 60万5
合計	104億2,377万6	△ 4億2,764万8

平成26年度の主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

■ コミュニティ協議会補助金	181万0千円
■ 広報等印刷事業	660万8千円
■ 区運営費補助金	437万0千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

■ こども医療費	8,928万9千円
■ 児童手当	4億9,272万0千円
■ 介護給付費・訓練等給付費	4億7,714万3千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

■ 武州長瀬駅北口周辺地区整備事業	2億 615万8千円
■ 埼玉西部環境保全組合負担金	3億8,899万0千円
■ 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金	4億1,272万1千円

元気に仕事ができるまちづくり

■ 農道用排水路等整備事業	425万5千円
■ 観光事業	1,369万3千円
■ 商工会補助金	754万0千円

学びを未来に活かすまちづくり

■ 川角中学校大規模改造工事	3億3,174万4千円
■ 中学校空調設備設置工事	6,964万3千円
■ 小学校トイレ改修工事	3,942万9千円

特別会計

町の会計は、一般会計と特別な財源を特定の支出に充てて経理を行う特別会計とに分けられています。

毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計と、企業会計である水道事業会計です。

特別会計歳出入・企業会計収支 (単位/千円)

区分	歳入	歳出	歳入-歳出
特別会計			
国民健康保険	49億5,508万3	46億8,920万6	2億6,587万7
農業集落排水事業	3,085万3	2,368万8	716万5
介護保険	20億 394万9	19億3,680万4	6,714万5
後期高齢者医療	3億1,535万9	3億 805万5	730万4
区分	収入	支出	収入-支出
水道事業会計			
収益的収支	8億1,043万7	7億3,560万7	7,483万0
資本的収支	5,093万5	3億5,076万0	△ 2億9,982万5

健全化判断比率

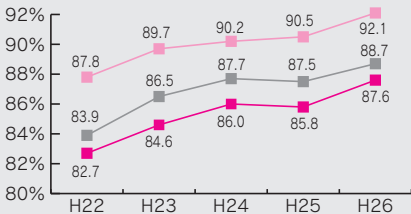
平成19年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務づけられています。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	—	—	5.4	51.8
早期健全化基準	14.21	19.21	25.0	350.0

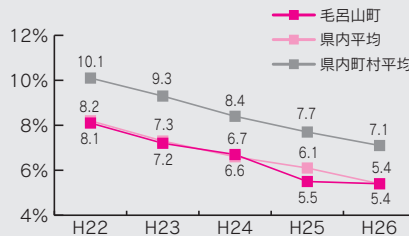
※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字の場合は算定しません。

- 実質赤字比率** 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。
- 連結実質赤字比率** 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。
- 実質公債費比率** 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。
- 将来負担比率** 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

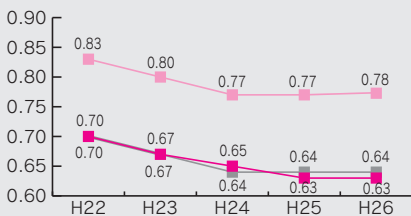
経常収支比率の推移



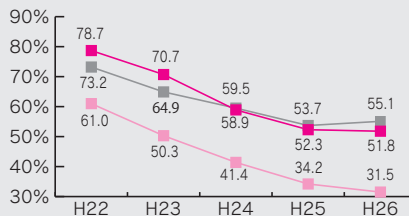
実質公債費比率の推移



財政力指数の推移



将来負担比率の推移



用語解説

- 経常収支比率** 財政構造の弾力性を測定する比率。80%を超えると弾力性を失いつつあるとされています。
- 財政力指数** 地方公共団体の財政力を示す指数。1に近いほど、財源に余裕があることとなります。
- 実質公債費比率** 町の借入金返済額(元金や利子)などの財政負担の大きさを表す比率です。
- 将来負担比率** 借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の大きさを表します。